

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○				○	○				○	○		○	

## 企業の概要

社名	株式会社KATUMOK	都道府県	福岡県
業種	情報通信業	従業員数	正社員5人 非正規雇用6人
事業概要	モバイル端末用アプリ作成、ソフトウェア開発、ホームページ作成等		

## テレワーク実施概要

雇用上の規定	在宅勤務規定
テレワーク担当部署	総務
テレワーク対象者	全社員
実施者数	8人
実施日数	週1～5日程度(実施者により異なる)

## テレワークの導入・拡大の経緯

会社創立時、当初、弊社で求める人材の募集に関して求めるスキルと支給できる給与の間に大きな隔たりがあった。弊社が求めるスキルの人材の多くは月給30万円程度を希望することが多く、残業等を含め企業負担が多いため在宅勤務での募集を開始したところ「在宅であれば、給与は御社の規定する金額で構わない」という人材が非常に多く潜在的な人材を確保する手段としては有効であると認識している。また急遽パートタイム的な案件に関しても、ハローワーク等にて「在宅可」「在宅推奨」と記載したところ応募者が4割増加となり、短時間月間時間数での時給契約スタッフの採用につながっている。また障害者の雇用に関して積極的に行うことが可能になったため、人材の確保が容易になった。

## テレワークの概要・特徴

セキュリティ、コミュニケーション面に関して実際にオフィスにいる場合と変わらない環境でできることが特徴。

例えば電話に関しては共通でSkypeIDを利用し、企業負担としているため顧客に連絡を取るときにもテレワーカーに負担をかけずに仕事に専念するようになっている。また、Skypeやチャットワークなどを効率的に使用することでオフィスコミュニケーションを積極的に交わしており、在宅中の作業者が「知らない」ことのないように、情報交換を頻繁に行っている。

セキュリティの高い仕事についてはカメラ付き在宅勤務を導入している。こちらは業務開始しPCを起動させると自動的にテレワーカー側のカメラがONになり、業務に就いているかを弊社だけではなくクライアントも確認することが可能。業務終了時間になりPCをシャットダウンさせると自動的にカメラはOFFになりテレワーカーのプライバシーはしっかり守られる。さらに、カメラの角度をテレワーカー自身で調整することができる(基本的には手元とPC画面が分かる状態であればよい)のでよりプライバシーを守っている。

業務時間中のテレワーカーの状況を確認することができるので、在宅勤務において確認が難しい勤怠管理も問題なく行うことが可能になる。また、在宅勤務にありがちなサービス残業の問題もカメラの導入で管理可能になっている。

## テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

### ■経費削減効果

交通費の節減 現在週2日出勤の勤務者の交通費は1万円/月となっている。それまでは定期代1か月26,820円かかっていた。

また人材採用に関して在宅勤務導入以前は広告等含め月間2万円から5万円程度かかっていたが、現在はほぼ0円(ハローワークからの紹介のみ、または自社のホームページからの応募のみ)である。

### ■テレワークを活用しての地方人材の育成や採用

弊社では予想をしていなかったが、障害者からのエントリー、また障害者就労支援施設からの相談案件が多くある。

これは能力はあってもフルタイムが難しい、昼夜逆転生活をしているなど一般的な就労が難しい方になんとか「働く経験」をしてもらうことはできないか、という相談が主なものとなっている。

一例では

- ・パニック障害で自宅から出ることができない
- ・統合失調で幻聴が聞こえるため自宅から出ることができない
- ・設備が必要な四肢障害がある
- ・長時間着席ができないためベッド上で作業をしたい など

現在その中の数名は正社員ではなく、外注として作業をおこなっており、能力差に応じて社員登用への準備としている。体調や家庭事情、時間数や本人の希望に応じて社員登用の準備期間となっている。

### ■時間自由勤務の奨励

勤務部署によっては決まったタスクを決まった時間内にやってもらう、という作業も多くあり、それらは「通勤勤務弱者」だけでなく子育て中、介護中などであっても能力があれば採用可能であり、テレワーカー団体、障害者自立支援施設などから人材の推薦を受け採用につながっている。また残業、過剰労働防止となっている。